

自然科学研究科博士前期課程2年の岩瀬智也さんが、2021年3月3日から5日までオンラインで開催された第25回準結晶研究会で、我が国の準結晶研究を先導された蔡安邦先生の名を冠して設立された第一回蔡安邦賞を受賞しました。

これまで結晶系における超音波歪みと電子系のもつ電気四極子との結合により、低温で弾性定数が減少するソフト化現象から物性物理学の研究が進展してきましたが、3次元空間で周期性をもたない準結晶と、準結晶と結晶の間をつなぐ近似結晶において、電子系がもたらす弾性定数の低温ソフト化を世界で初めて見出しました。今後、低温超音波法による新しい研究領域における発展が期待され、基礎研究として重要な成果と認められました。

受賞者：岩瀬 智也

(新潟大学大学院自然科学研究科数理物質科学専攻物理学コース博士前期課程2年)

名称：第一回蔡安邦賞 (第25回準結晶研究会)

講演題目：超音波による**Au-Al-Yb**準結晶と近似結晶の弾性定数の温度・磁場依存性

指導教員：根本 祐一 (電子物性研究室 根本・赤津グループ)

賞状

第一回蔡安邦賞

(学 生 の 部)

「超音波による Au-Al-Yb 準結晶と近
似結晶の弾性定数の温度・磁場依存性」

新潟大学・自然科学研究科

岩瀬 智也 殿

貴方は二〇二一年第二十五回準結晶
研究会において優秀な発表をされま
したのでこれを賞します
今後ご研究がより一層進展されるこ
とを期待します

令和三年三月五日

準結晶研究会